

2025年12月15日

報道関係者各位

株式会社マークス・インテリジェンス

中部カリマンタン・カティンガン県、乾燥した泥炭地での稻作を推進。日本との環境協業にも前向き。

— 株式会社マークス・インテリジェンスが、県知事らと日本企業との協業について協議 —

株式会社マークス・インテリジェンス（本社 東京都中央区、代表取締役 佐藤守彦、以下 当社）は、インドネシア・中部カリマンタン州で最も広大な行政区である**カティンガン県政府**を訪問し、同県の首長（Bupati、県知事に相当）および環境局（DLH: Dinas Lingkungan Hidup）幹部と会談を行いました。



本会談では、同県の泥炭地、マングローブ林、稻作地域などを対象とした環境保全および地域資源の持続的活用に関して、**日本企業との協業の可能性**について意見交換を実施し、相互理解を深めました。

■ カティンガン県の位置づけと「Katingan Lestari」構想

カティンガン県は、総面積約2万平方キロメートルを有する中部カリマンタン州最大の行政区です。同県には、**泥炭地・マングローブ林・熱帯林**などの多様な生態系が広がり、温室効果ガスの排出削減や気候変動への適応の面で極めて重要な役割を担っています。さらに、乾燥した泥炭地を活用した稻作（約7,000ヘクタール）の取り組みも進められており、食料安全保障と環境保全の両立に向けた挑戦が行われています。

カティンガン県政府は、**自然資源の保全と活用のバランスを維持しながら持続可能な地域開発を推進する方針**を掲げており、この理念を「**Katingan Lestari**（持続可能なカティンガ

ン）」の概念として、短期および長期の地域開発計画（RPJMD/RPJPD）に組み込んでいます。当社との協議は、この「Katingan Lestari」の方向性とも合致しており、GX（グリーントランスフォーメーション）関連事業の導入に向けた重要な機会となりました。

（写真は、県南部の稻作地帯）



今回協議したカティンガン県知事と職員。（左から）モザルト県食料農業府長、サイフル県知事、佐藤当社代表、ヨビ県環境局長、ノガ県環境局 環境汚染・環境破壊防止部長

■ マークス・インテリジェンスの役割

当社は、日本企業のインドネシア進出およびインドネシアにおけるサステナブルな地域資源のビジネス開発を支援するコンサルティング会社です。特にインドネシアでは、地方政府・大学・民間セクターを結びつけ、**現地課題と日本の技術・知見を結ぶ協業プラットフォームの構築**を進めています。今回の訪問では、カティンガン県政府が環境分野での国際連携に強い関心を示し、**GX 技術導入等に向けた長期的な協業関係の構築に前向きな姿勢**を確認しました。

■ 今後の展望

今回のカティンガン県訪問は、2024年に実施した**アチエ州の最高指導者（Wali Nanggroe Aceh）への表敬訪問**に続く日本とインドネシア間の関係構築活動の一環です。マークス・インテリジェンスは、今後もジャカルタのみならず、インドネシア各地におけるネットワークの

更なる深耕と拡大を図り、同国に関心を持つ日本企業が現地の行政・研究機関・民間団体と円滑に連携できるよう、**橋渡し役としての役割を果たしてまいります。**

■ 会社概要

会社名：株式会社マークス・インテリジェンス（英表記 MRKS INTELLIGENCE INC.）

所在地(本店)：東京都中央区日本橋箱崎町 3 2 – 3

代表取締役：佐藤 守彦

設立：2021 年 9 月

事業内容：日本およびインドネシアの企業・団体の相互の進出支援を含むマーケティングを主としたビジネスコンサルティング。東京都グローバルサウス GX 促進プロジェクト連携パートナー。

ウェブサイト：<https://mrks-int.com>

＜お問い合わせ先＞

株式会社マークス・インテリジェンス

E メール : info@mrks-int.com